

「目指す姿」実現に向けた中期目標

中部電力グループ「目指す姿」	期待を超えるサービスを、先駆けてお客さまへお届けするリーディングカンパニーとして、『一歩先を行く総合エネルギー企業グループ』を目指します。
中部電力グループ中期目標	2018年度までに「連結経常利益1,500億円以上」を実現できる企業グループを目指します。

4つの重点的な取り組み

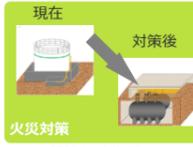
1 浜岡原子力発電所の安全性をより一層高める取り組み (P.7～9参照)

＜浜岡原子力発電所の安全性向上対策（設備対策・現場対応力の強化）＞

現在、原子力規制委員会による新規制基準の適合性確認審査を受けており、早期に適合性を確認いただけるよう真摯に対応します。今後も、新規制基準を踏まえた設備対策を着実に進めるとともに、現場対応力の強化に継続して取り組んでいきます。

**設備対策**

地震等への対策

津波への対策




**現場対応力**

重大事故への対策




防災体制の整備等




教育・訓練の実施





【自治体との連携強化】  
放射性物質の異常放出等の原子力災害が発生した場合にも、地域と一体となって対策が実施できるよう、国・自治体等との連携を強化していきます。



＜より安全で信頼される発電所を目指して＞

新規制基準への対応にとどまらず、常に最新知見を反映した設備対策の実施により安全性を高めるとともに、経営トップが原子力の安全性向上にコミットし、ガバナンス、リスクマネジメント、リスクコミュニケーションを強化しています。

2 新たな時代の安定供給に向けた取り組み (P.10～13参照)

＜バランスの取れた電源構成の実現＞

国のエネルギーミックスを踏まえ、「S + 3 E」の観点から、原子力、火力、再生可能エネルギー等の多様な電源を、設備の経年にも配慮しながらバランスよく組み合わせる最適な電源構成を実現し、地球環境に配慮した、良質なエネルギーの安全・安価で安定的なお届けを実現します。

**具体的な取り組み**

- 西名古屋火力発電所7号系列(LNG)、武豊火力発電所5号機(石炭)の開発
- 再生可能エネルギーの開発と送配電網への接続拡大
- 浜岡原子力発電所の安全性をより一層高める取り組み

**バランスの取れた電源構成の実現**

- CO<sub>2</sub>排出量抑制
- 安定供給の確保
- 価格の低減

＜地球温暖化問題への対応＞

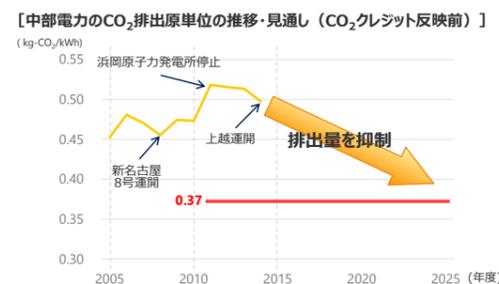
これまで高効率火力機の開発や再生可能エネルギーの開発等、総合的な取り組みを行い、バランスの取れた電源構成を実現することでCO<sub>2</sub>排出量の抑制を進めてきました。当社は、電力業界全体で構築した自主的枠組に参画し、2030年度のCO<sub>2</sub>排出原単位の目標値達成に向けて、様々な取り組みを行ってまいります。

**「電気事業低炭素社会協議会」への参画**

- 当社を含む電力会社有志が策定した「電気事業における低炭素社会実行計画」の達成に向けた取り組みを着実に推進するために設立。

**CO<sub>2</sub>排出原単位目標(2030年度)**

0.37kg-CO<sub>2</sub>/kWh 程度※



※お客さまのご使用量1kWhあたりの数値

3 成長の加速に向けた取り組み (P.14～16参照)

＜成長の加速に向けて＞

電力・ガス市場におけるさらなる販売拡大(ガス&パワーの積極的な展開)

**販売カンパニー**

- 電力販売**
  - さまざまな販売チャネルを活用した中部地域以外での販売拡大
  - 新たな料金メニューのご提供やWEBサービスのコンテンツ拡充
- ガス販売**
  - ご家庭のお客さまも含めたガス・LNG販売の拡大

**JERA 販売カンパニー**

- JERA、その他のグループ会社を活用した中部地域以外の電源の着実な開発

最新鋭電源の開発による競争力の強化

**発電カンパニー**

- 西名古屋火力発電所7号系列、武豊火力発電所5号機の着実な開発

燃料調達における競争力の強化

**JERA**

- 世界最大級の調達規模をてこに燃料調達および上流権益に関する事業の最適ポートフォリオを形成

国際エネルギー市場での成長

**JERA**

- 海外発電事業を中心に主体的な案件開発を目指す

＜JERAの設立・目指す姿＞

当社は、東京電力(株)と「燃料上流・調達から発電までのサプライチェーン全体に係る包括的アライアンス」を実施する新会社として、「(株)JERA」を設立しました。当社と東京電力の両社がこれまで培ってきた資産・技術・知見等を活用し、国内外でもトップクラスとなる事業規模を活かし、燃料・発電等の各市場において存在感を高めることで、さらなる成長を目指します。

世界最大級の調達規模やトレーディングを活用して、最適なポートフォリオを形成し、今後の事業環境の変化にも柔軟に対応できる燃料調達を実現

両社の知見・技術を結集させて、火力発電所の新設・リプレースを推進し、競争力の向上と地球温暖化問題への対応を両立

海外で発電やエネルギーインフラ事業を展開することで、新興国の経済成長と環境負荷の低減を支えるとともに、新たな収益源を獲得

4 環境変化に即応できる事業体制の構築に向けた取り組み (P.17参照)

＜カンパニー制の導入＞

当社は、2016年4月からカンパニー制を導入します。各カンパニーによる自律的な業務運営を可能とすることで、事業環境変化に迅速かつ柔軟に対応できるようにすることを目指し、カンパニー社長を置き、業務執行権限の委譲等を行います。これにより、各カンパニーが変化を先取りした取り組みを深め、事業領域を拡大しながら競争に勝ち抜いていきます。



各カンパニーの具体的な取り組みについては、**発電カンパニー・JERA (P19～25) 電力ネットワークカンパニー (P26～28)、販売カンパニー (P29～38) をご覧ください。**